

### がんカフェとくしま

徳島インマヌエル教会が拠点になる賀川豊彦記念「がんカフェとくしま」を設立して今年で6年になります。2016年9月にはクリスマスチャンドクターの順天堂大学医学部教授樋野興夫先生に当教会での講演依頼を快諾していただき、約百名程度の集会をすることができました。樋野先生は「病気にあっても、病人ではない。ガンになっても使命感を持って生きること」のすばらしさを教えてくださいました。

がんカフェは、ガン患者やその家族、医療関係者らがお茶を飲みながら、リラククスして語り合い、病気の不安を和らげるという試みで広がっています。そしてこのがんカフェはガンを通して、人生や命の意味を考える集まりで、全国に90を超える拠点を持つまでになっています。



(徳島インマヌエル教会 アンナ谷睦子)

当教会で、5月にZoomでの参加者と共に行われたがんカフェでは、冒頭でステージ4の大腸ガンで闘病中の方にご自身の体験を発表していただき、「病気にとらわれないうで堂々と今を生きること」と証をされ、私たちも元氣をいただきました。これからもお互いに、誘い合って、コーヒーを飲みながら語り合っていきます。そして神戸教区にもこの集まりが広がれば、より心強いと思っています

## 日本聖公会第67(定期)総会報告

神戸教区聖職代議員 司祭 バルナバ 瀬山会治

5月31日(火)から6月2日

(木)にルーテル市ヶ谷センターとTKP市ヶ谷カンファ

レンスセンターで開催された

日本聖公会第67(定期)総会に

ついて、紙面の都合上一部を

以下に報告いたします。

### 【聖公年年金】

規約一部改正の件と

### 【新規収益事業の件】

現在まで50年以上にわたり支給されてきた、退職した聖職や遺族のための聖公年年金は、加入教役者の減少と受給者の増加により毎年約3200万円の補填が続いています。年金委員会は、制度の維持・継続をするために支給額を平均で15%程度減額せざるを得ないと判断し、本議案を提出、可決されました。なお、新規収益事業の議案として可決された聖公会センターの賃貸しによる事業収入は年金制度の不足分に充当するが、なお赤字が見込まれると報告されました。

### 【ナザレ修女会 残余財産の寄附】

2018年に解散決議されたナザレ修女会の残余財産は、法人解散・清算手続きが完了した際には、感謝を持って日本聖公会の基本財産として設定することが承認されました。

### 【首座主教・常議委員会選挙結果】

首座主教

主教 武藤 謙一

聖職常議委員

司祭 大岡左代子

司祭 土井 宏純

司祭 上田亜樹子

信徒常議委員

赤坂 有司 (東北)

池住 圭 (中部)

村井 恵子 (横浜)

【働区】

沖繩教区と共に西日本宣教協働区)

西日本の3つの宣教協働区から、それぞれ教区間の情報交換など活動報告があり、昨年伝道教区となった北関東教区は、東京教区と新教区を目指して聖職・信徒の交流や制度調整などの協議が進められています。(神戸教区は九州・